

# 自分の考えを発信する力を高める総合的な学習の時間の指導の工夫

～段階を踏んだ交流を通して～

群馬県高崎市立箕輪小学校  
木村 稔

## 1 主題設定の理由

コミュニケーションの力が重要視されている現代社会において、自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝える発信力を高めることは重要である。

本校では「ふるさと発見学習」を行い「地域から学び、地域に発信する子の育成」に取り組んできた。その結果、地域の方々からの協力を得やすい状況ができてきた。5年生の総合的な学習の時間の「はばたき稲作体験学習」も田植えや稲刈りの体験学習で地域人材である農業委員の協力を得ている。体験学習の時の交流が根付き、農業委員の思いや知恵から学ぶこともできている。しかし、農業体験の時に話を聞いたり質問したり教えてもらったりするなど一時的な交流で終わっていた。そこで、交流の機会を増やし、段階を踏んだ交流をしていこうと考えた。段階を踏んだ交流を通して、適切な課題を設定し、発表したことに対する評価を受けて考えを修正したり発展させたりし、根拠を明らかにして考えを分かりやすく伝え、発信する力を高めることが期待できると考える。以上のようなことから本主題を設定した。

### 〈研究のねらい〉

地域人材と段階を踏んだ交流を行い、根拠を明らかにした自分の考えを伝えることを通して、発信する力が高まることの有効性を明らかにする。

### 〈研究の仮説〉

- 課題設定や課題解決の方法を考える場で地域人材の農業委員と交流することにより、児童の興味・関心をもとにした適切な課題の設定ができるであろう。
- 課題に対して調べたことや自分の考えを発表する場で地域人材の農業委員と交流し、発表に対しての意見やアドバイスを受けることによ

り、学習を更に進め、修正したり発展したりした考えをもつことができるであろう。

- 修正・発展した考えを発表する場で、地域人材の農業委員と交流し、根拠を明らかにして考えを発表することにより、発信する力を高めることができるであろう。

## 2 研究の内容

### (1) 発信する力

本研究で考える「発信する力」とは、「学習を通して得た情報や知識を基にして、自らの意見や考えを相手に分かりやすく伝えることができる力」である。

「発信する力」を高めるためには伝わりやすい発表方法をとることと共に内容も分かりやすくする必要がある。発表方法では、内容の順番や使う資料の書き方や提示の仕方、「伝わりやすさ」を考える必要がある。発表内容は「調べた内容だけ」から「調べた内容に対しての自分の意見や考えを含めた内容」、更には「自分の思いや考えの根拠を明らかにした内容へと指導していった。

調べたことを、相手に分かりやすく伝える児童。



調べて分かったことや意見や考えを、相手に分かりやすく伝える児童。

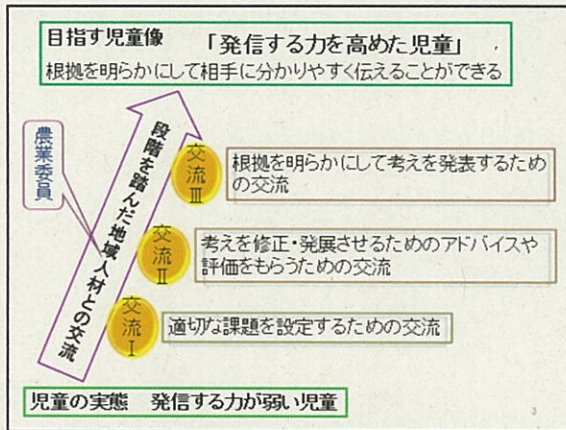


調べて分かったことや思いや考えを、根拠を明らかにして、相手に分かりやすく伝える児童。

### (2) 段階を踏んだ交流

本研究で考える「段階を踏んだ交流」とは、第一段階での交流Ⅰ、第二段階での交流Ⅱ、第三段階での交流Ⅲと、各段階で違った目的を設定して交流をしていくことととらえた。毎回違った目的を設定して段階的に交流をすることにより、地域人材の能力を活用して児童の発信する力を高め

ていった。



### (3) 地域人材の活用

本研究の地域人材は農業委員である。農業委員を活用することにより、児童の考えを深め、発信する力を高めることにつなげた。交流の前には、打ち合わせをして、指導者の考えと児童の考えを一覧表にしたものを渡して児童の様子を伝えた。交流後には感想を伺い、児童に伝えた。

### 3 実践:第5学年「はばたき稲作体験学習」

#### ○交流Ⅰ「適切な課題の設定」

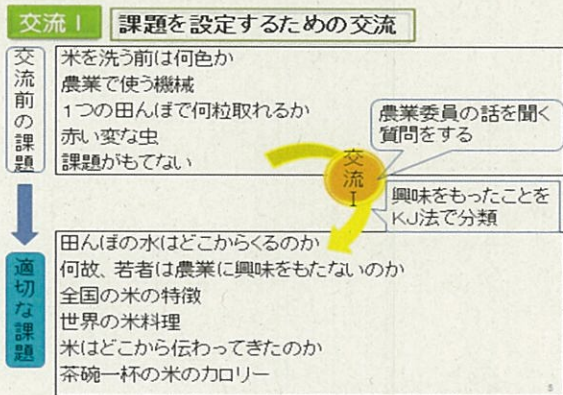
交流Ⅰでは、農業委員と以下のように関わり課題設定をした。

- ・児童の興味・関心に基づいた話を農業委員にしてもらうために、児童が「疑問に思ったこと」「興味・関心をもったこと」「農業委員さんへの質問」の3点を書く。  
(どんなことでもいいので書かせた。)
- ・児童の考えを一覧表にして農業委員に渡し、児童の疑問に答えながら「米作りで大事にしていること」「米作りをされていて出会う生き物(植物・動物)」「今の農業問題」について話していただくように依頼する。
- ・**交流Ⅰ** ※農業委員の話⇒質問
- ・課題を決める手がかりとさせるために、メモを取りながら話を聞き、一人一回は質問をした。
- ・交流を生かした興味・関心をもとにした適切な課題を設定するために、農業委員の話聞いた直後に関心をもったことを付箋に書かせ、グループでKJ法を使ってまとめる。
- ・グループでまとめたものをクラス全員の前で発表させ、興味を持ったことを課題にする。



【写真1】交流Ⅰで農業委員に質問する児童

※児童の課題は、以下のように変わった。(抜粋)



#### ○交流Ⅱ「考えを修正・発展させるためのアドバイスや評価をもらう」

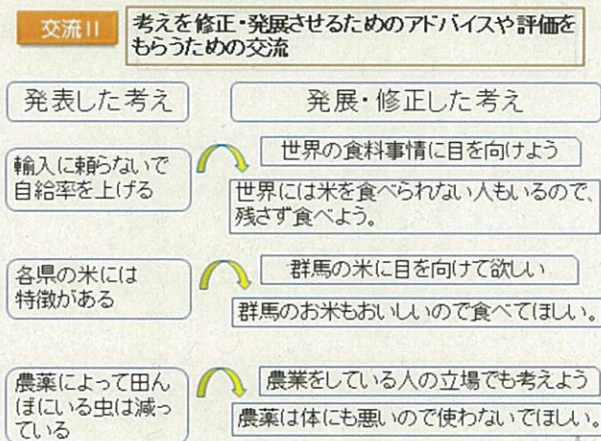
交流Ⅱでは、農業委員と以下のように交流を通して考えを修正・発展させた。

- ・分かりやすく伝えるための視点として、「題名(調べたこと)」「調べた理由」「調べた方法」「調べて分かったこと」「調べて考えたこと(伝えたいこと)」を整理しながら模造紙に書く。  
(根拠が無くても、考えはもたせて書かせた。)
- ・3人組で発表する場を設定し、調べたことと考えが分かりやすく伝わっているかを確認する。
- ・発表順と内容をまとめて農業委員と打ち合わせをして、効果のある感想やアドバイスなどの評価をしてもらえるようにする。
- ・**交流Ⅱ** ※児童の発表(調べたこと、考え)⇒質問⇒アドバイスや評価
- ・模造紙を掲示して発表する。
- ・考えを深められるように、交流の中で児童同士でも感想発表や質問をした。
- ・分かりやすく伝えることができたかを確認するために、ワークシートに学んだことを書く。
- ・発表の終了後の学習でワークシートを準備して

考えや根拠を確認したり、個別指導をしたりして、考えや根拠をはっきりさせた。



【写真2】 交流Ⅱで発表後のアドバイスをもらう様子  
※児童の考えは、以下のように変わった。(抜粋)



### ○交流Ⅲ

交流Ⅲでは、農業委員と交流をしながら根拠を明らかにして考えを発表し、発信する力を高めた。

- ・自分の伝えたい考えの根拠を明らかにした発表にするために、発表を「考え」「根拠」の順序で行うことを確認する。
- ・「考え」「根拠」を短い言葉で表せるまで絞りこみ、B4の紙に大きく書く。
- ・考えの根拠をはっきりさせて分かりやすく伝えられたかを確認できるように、発表順と内容をまとめ、農業委員と打ち合わせをする。

・**交流Ⅲ** ※児童の発表(考え、根拠)⇒質問・感想⇒評価

- ・「考え」「根拠」の紙を貼りながら発表する。
- ・ワークシートに発表者の考えや根拠を書き、分かりやすく伝えることができたかを確認する。
- ・交流の中で児童同士で質問をしたり感想を伝えたりして、より考えを深める。

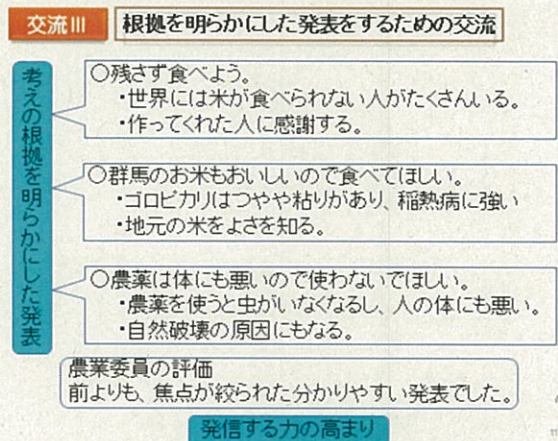
- ・児童の発表後に、農業委員のコメントと児童をつなぎ、児童の発信する力についての高まりを確認する。



【写真3】

交流Ⅲで考えの根拠を明らかにして発表する児童

※児童は、以下のように発表した。(抜粋)



## 4 研究の成果と課題

### (1) 成果

- 地域人材である農業委員と段階を踏んだ交流をすることにより適切な課題を設定することにつながることができた。
- 発表で農業委員のアドバイスや評価を受けたり、教師が働きかけたりすることにより、考えや根拠を明らかにする学習を進めることができ、自分の考えを発信する力を高めることにつながった。
- 段階を踏んだ交流をすることにより農業委員さんのやりがいにもつながった。

### (2) 課題

- 対象が変わっても同じように分かりやすく伝えることができるよう、さらに発信する力を高めていく。今後、意図的・計画的に伝える対象を変化させる単元構想を工夫したい。そして、子どもたちが相手意識を高め、伝える相手に応じて、分かりやすく伝えることができるように、発信する力を高める指導の在り方をさらに研究していきたい。